

SDGs推進委員会について

当社では『建設事業を通して人と自然の最適環境づくりに貢献する』という経営理念のもと、従来より独自のCSR活動を展開してまいりました。それらの活動を深く掘り下げSDGsの文脈に沿って捉え直すと、SDGsとは当社の事業活動そのものであり、あらゆる活動がSDGsとつながっていくと考えられます。そこで私たちは、これまでの活動をより伸展させ社会全体への普及を図ることを目標とし、2018年1月31日に「SDGs導入準備会」を発足、同年5月30日「SDGs推進委員会」を設置いたしました。

SDGs推進委員会の編成にあたっては、課題の抽出から解決へ向けた起案を迅速に、かつ全体を包括的に捉える必要性から、管理部門・営業部門・工務部門を横断したメンバーで構成しました。委員会の活動は、別の委員会やワーキンググループで議論・実施中の活動をSDGsの観点より、社内役職員および社外向けに情報発信することから開始し、現在では当社職員へ向けたSDGs研修の企画・開催、自治体や異業種との交流会開催など、活動の幅を少しずつ広げております。

当社の事業活動である建設事業は、その事業規模や社会的位置づけから社会と環境全体に及ぼす影響が大きな業種です。私たちに求められているのは、社会的便益をより大きくしつつ、環境への負荷を小さくする手法を模索すること、そしてSDGsへの取り組みや活動を積極的に展開することで、日本の建設業全体が「持続可能な社会の発展向け大きく貢献できる産業」となることを願い、今後も体制を強化すると共に、挑戦を続けます。

SDGs推進委員会 一同



本社／北海道本店



東北支店



東京・海外支店



大阪支店

これまでの活動を振り返って

2019年度は、当社がこれまで継続的に取り組んできた様々な活動を整理し、社会的課題と照らし合わせて、より深化させた形でSDGsとしての目標設定を具体的にしてスタートを切った年でした。SDGsとしてのサステナビリティレポートのとりまとめとその普及活動は2019年度が初年度ということもあり、手探りの活動となった点や、役職員の皆様の理解が深まったかという、もう一つ確かな手ごたえがなかった点など、反省や改善が必要となることが多々あったと感じています。一方で、役職員の皆様の意識の向上、仕事に取り組む上での考え方の変化、関係する多くの方々とSDGsの面での連携ということが実感できる機会が多くなってきていることも感じてまいりました。



SDGs推進委員会 委員長
関 博之

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大という苦難のスタートとなりましたが、withコロナの新しい時代の生活様式と新たな企業活動スタイルを模索しながら、SDGsに関しては引き続き推進委員会を中心に啓蒙普及の活動を進めてまいります。役職員一人ひとりがSDGsの本質を理解し意識して活動していくことで、従来通りの建設事業の継続や会社の一般的な活動が、さらなる高水準の取り組みとなっていくと考えています。そうしていくことで、当社の様々な活動が社会的課題の解決に、より強く貢献していけるものと思っています。

また、我々一人ひとり、一つひとつの企業のみではなく、多くの方々のお力、多くの企業のお力をSDGsによって束ねることで、より大きな力で社会的課題の解決に貢献していくことができるものと考えています。SDGsの達成やそれによる社会的課題の解決には一人ひとり、一社々々、一年々々の活動の積み重ねが重要になります。今回のレポート作成で、ようやく一回りの作業を推進委員会として経験したことになります。この経験をもとに、さらなる成長ができるよう、次の1年に向けてしっかりと委員会としての活動を重ね、社内はもとより、外部への働きかけや外部との連携も一層強めて、来年のこの時期にはより成果が上がった形でのレポートが示せるよう、推進委員会として精進してまいります。

編集後記

岩田地崎建設の『2019-2020サステナビリティレポート』を最後までお読みいただき、ありがとうございます。今年度より、本レポートの対象を未来の社会人にも広げたいという委員会メンバーの意見を取り入れ、末項に『SDGs(持続可能な開発目標)とは?』を掲載しました。

当社のSDGs推進委員会では、日本の建設業という観点から未来に向けた新たな変化を創出し、やがて大きな変化につながるよう、今後も情報発信をしてまいります。

本レポートの製作を通じて、多くの方々から当社に対する期待の声を頂戴することができました。私たちはその声にお応えできるよう、ステークホルダーの皆さまと共に、次世代に持続可能な未来を渡せるよう、今後も具体的な取り組みを持続してまいります。

最後になりますが、本レポートの製作に協力くださいました関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。

SDGs推進委員会 事務局長
上村 英史